

保護者の皆様

蒲郡市立三谷東小学校長
小嶋 智巳

令和7年度学校経営評価(保護者・児童対象)アンケート結果の報告について

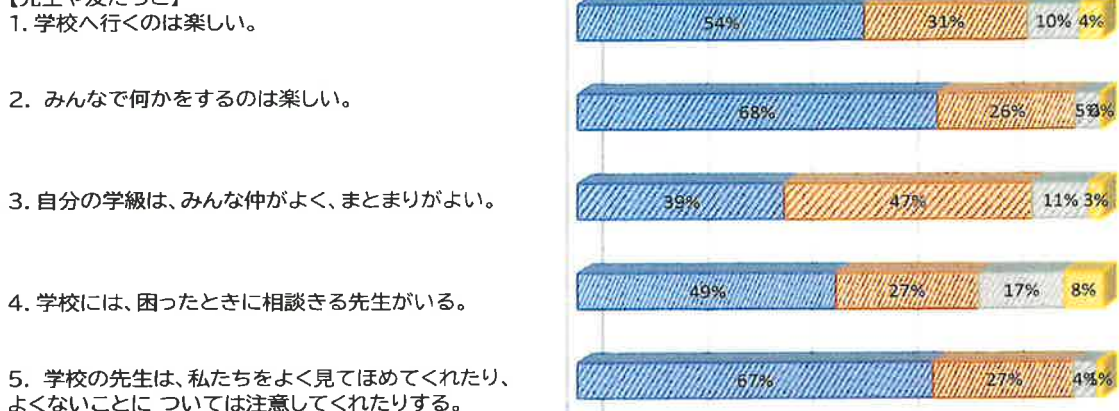
立春の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃は、本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、ご多用の中、学校評価アンケートへご協力いただき誠にありがとうございました。本年度のアンケートの集約結果が出ましたので、ご報告いたします。集約結果ならびに寄せられましたご意見・ご要望等につきましては、十分検討し、令和8年度の本校の教育活動に活かしていきたいと考えております。

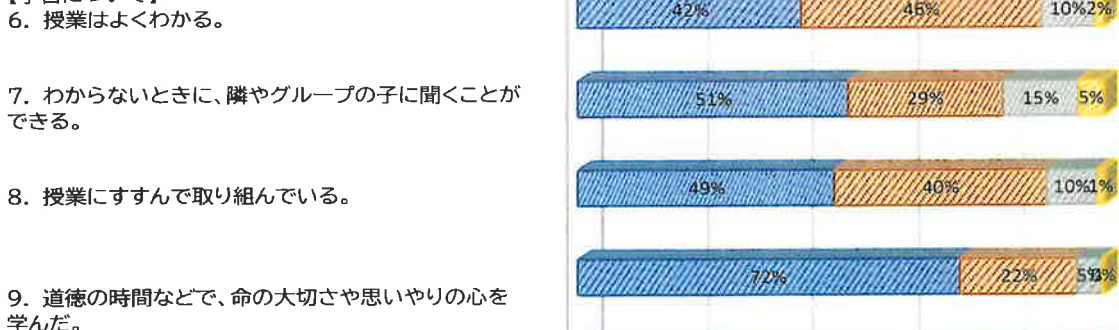
令和7年度 児童対象アンケート集計結果(12月実施)

■ A そのとおり ■ B だいたいそのとおり ■ C あまりそうでない ■ D まったくそうでない

【先生や友だちと】



【学習について】



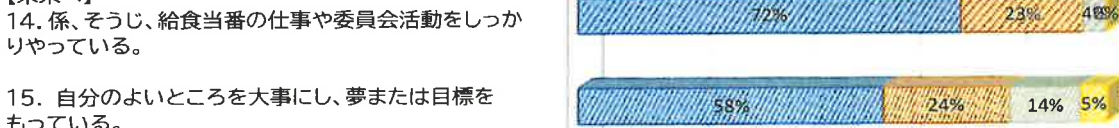
【保護者・地域と】



【安全・健康】



【未来へ】



0% 20% 40% 60% 80% 100%

令和7年度 保護者対象アンケート集計結果(12月実施)

- A よくあてはまる
 ■ B だいたいあてはまる
 ■ C あまりあてはまらない
■ D まったくあてはまらない
 ■ E よくわからない

【先生や友達との関係】

1. 子どもは、楽しく学校に通っている。



2. 子どもは、話ができる友達・仲のよい友達がいると言っている。



3. 学校には、子どものことを相談できる先生がいる。



4. 学校は、子どもをよく見てほめたり、よくない行動について指導したりして、困っている問題に対応している。



【学習について】

5. 学校は、「わかる授業」「楽しい授業」づくりをめざし、支援している。



6. 子どもは、主体的に学習に取り組むようになってきている。



7. 子どもは、生命を大切にす心や思いやりの心が育っている。



【保護者・地域との関係】

8. 学校は、家庭や地域とかがわる学習を進めている。
(例: 南山おはなし会、お手伝い、秋遊び、町探検、環境チャレンジ、SDGs、防災についての学習、三谷祭等)



9. 学校と地域で「『まちぐるみ』で子どもたちを育てていく」ことが大切であると思う。



10. 子どもは、あいさつや基本的な生活ができるようになってきている。



11. 学校新聞・学校通信「南山の四季」・学年、学級通信・保健だより・PTAだより・ホームページ等は、学校との連携に役立っている。



12. 学校は、学校行事等に参加しやすいようにしている。



【健康・安全】

13. 学校は、子どもの安全・安心・健康な生活づくりに努めている。(登下校の指導、交通安全教室、学校保健委員会、ライオンシート等)



14. 学校は、地震や火事、津波の対策について等、防災教育を進めている。



【未来へ】

15. 子どもは、自分の長所を大事にし、夢または目標を持っている。



0% 20% 40% 60% 80% 100%

令和7年度 学校経営評価アンケート(児童・保護者)まとめ

《設問別アンケート集約結果より》

今年度は、学校運営協議会で検討し、三谷中学区3校(三谷中・三谷小・三谷東小)で質問項目を精選しました。児童15設問、保護者16設問とし、うち10の設問については、児童の捉えと保護者の捉えが対比できるよう、内容について考慮してあります。そして、それぞれの設問に対して、児童用は「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」のいずれかで回答をしています。保護者用は、さらに「わからない」も加えて回答をお願いしました。「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせたものを肯定的な回答ととらえ、結果を考察しました。以下に示す設問番号は、**123**・・・を児童用設問、**①②③**・・・を保護者用設問とします。

- 設問**1**・**①**「楽しい学校」、設問**23**・**②**の「友達とのかかわり」については、すべてが児童・保護者とも85%以上が肯定的な回答でした。しかし、その一方で、設問**①**・**3**では、否定的な回答が昨年度に続き、10%以上ありました。また、設問**②**では、否定的な回答は5%でした。このことから、多くの児童が学校に魅力を感じているが、友達との人間関係に不安を抱え、学校に行くのが楽しくないと感じている児童も一定数いるということが読み取れます。それでも、友達と一緒に学習や活動することに対しては意義を感じている子どもたちが多いということです。ですから、これからも協働的な学びの場を多く設定し、学校生活に不安を抱えている子に寄り添い、サポートしていくことができる学校体制をめざしていきます。
- 設問**45**・**③④**「先生とのかかわり」を中心にした設問については、設問**5**の肯定的な回答が昨年度と変わらず高ポイント94%であることから、子どもたちにとって、先生の指導が子どもたちにとって理解できていることがうかがえます。しかし、設問**③④**は、それぞれ否定的な回答が16%、7%であり、「よくわからない」と回答している方が、8%、9%います。どの教職員も三谷東小児童みんなの先生であると考え、対応しているつもりです。児童・保護者とのよりよい関係づくりを大切にしていきたいとともに、日頃から、いつでも誰でも、なんでも相談できる雰囲気づくりを心がけていきたいと思えます。
- 設問**6**~**9**、設問**⑤**~**⑦**は、「学習」についての設問です。設問**6**~**8**はすべて80%を超え、設問**9**は94%に達しています。保護者も昨年度とほぼ変わらず、設問**⑤**は79%、設問**⑦**は87%と、高い値になっています。なかでも、設問**9**は、「よくあてはまる」と回答した児童が50%を超えています。週1時間の道徳の授業だけでなく、朝の会など、折に触れ、子どもたちに命の大切さや思いやりについて話題にしているからだと考えます。今年度、新しい設問である**⑥**「主体的に学習に取り組む」は、全回答の中で、最も低い値でした。低学年は50%程度、中・高学年は学年が上がるにつれ、高くなる傾向にありましたが、それでも60%程度にとどまりました。児童は、設問**8**「授業に進んで取り組んでいる」で89%が肯定的な回答をしており、ずいぶん差があります。授業の中では、がんばっている児童も、家庭ではなかなか学習に前向きに取り組む姿が見られないと感じるのかもしれませんが、家庭の支えがあってこそ、子どもたちもがんばれているのだと思います。これから、保護者の皆様にも「主体的な学びができています」と認めていただけるよう、学習への取組みについて考慮し、授業づくりに工夫を重ねていきます。保護者の皆様のご協力も、引き続きよろしくお願いいたします。
- 設問**10**、設問**⑧**~**⑫**は、「保護者・地域とのかかわり」についての設問です。設問**⑫**以外は85%以上の肯定的な回答で、いずれも高い値でした。特に、設問**⑨**「まちぐるみで子どもを育てる」は94%と、全設問の中で最も高い値でした。設問**10**「地域の方との勉強や活動は楽しい」は90%、設問**⑧**「家庭や地域とかかわる学習をすすめている」は88%であり、今年度も地域に出かけて実物に触れたり、地域の専門家を講師として学校に招いたり、授業のサポートをしていただいたりするなど、地域とかかわりながら学習をすすめてきた成果だと考えます。下校の見守りや授業サポートなど、今後も保護者の皆様だけでなく、地域の方々にも

協力していただくすべを検討していきたいと思います。

一方で、設問⑩「あいさつや基本的な生活」では、児童、保護者それぞれ、昨年度より8ポイント減、6ポイント減になっています。学びは、基本的な生活が基盤となります。また、地域とのかかわりを大切にするためにも、基本的な生活習慣の徹底は、しっかりしていかなければなりません。学校でも指導を継続していきます。ご家庭でも同じ歩調で声かけをしていただけますよう、お願いします。設問⑫「学校行事等に参加しやすい」は、昨年度に比べ、7ポイント減となりました。土曜開催だった行事が平日開催になったことが影響したのではないかと考えます。しかし、今後も、市内小中学校の学校行事は平日開催を基本としていきますので、ご了承ください。

- 設問⑬、設問⑭は、「健康・安全」についての設問です。設問⑬については、昨年度より、それぞれ2ポイントずつ高くなりました。学級での指導や、学校保健委員会や保健集会などから学んだことが生かされていると言えます。
- 設問⑮、設問⑯は、「自分自身・未来」についての設問です。設問⑮は、今年度の新たな設問ですが、児童82%、保護者65%といずれも高いとは言えない結果です。2割程度の子が、まだ夢や目標がもてていないようです。友達や自分のよいところを伝えあう時間を設けたり、成功体験を積み重ね、努力を認める声かけを大切にしたりして、自己肯定感を高められるよう、学校全体で取り組んでいきたいと思います。

《「学校経営評価アンケート」保護者の声より》

今後、よりよくなるためのご意見・ご要望等について、さまざまなご意見をいただき、ありがとうございました。「いつも子どものことを考えてくれてありがとうございます。できる限り協力したいと思います」「よく見てくださってありがとうございます」「子どもが楽しく学校に行けているのは、周りの仲間、そしてその仲間たちを上手に束ねてくださっている先生のおかげだと思っています」「体に気をつけて無理しないでください。何かあれば駆けつけます」など、うれしい声が届き、とても励みになります。今後も「三谷東小の子どもたち」のために、保護者・地域の願いを大切に諸問題を解決する努力を続け、よりよい学校をめざしていきたいと思います。以下、ご意見についての学校の考えを示します。

【登下校について】

「登下校中に危ない姿を見る。見守りを増やすか、何か対策を一緒に考えたいです」

「通学団があると、安心して通え、時間を守って登校できるようになるメリットがあると思う」

⇒通学団登校については、これまでも多くご意見をいただいています。遅刻者が多い、送迎をしてもらう子が多いという現状を考えると、心配なことも多くあります。通学団登校をすることによる子ども同士のトラブルなども他校の実績から考えても不安に思います。下校の見守りについては、保護者の皆様が寄り添って帰ることはなかなかできないと思いますので、地域の方にもご協力を仰ぎ、たくさん目で見守ることを推し進めていきたいと考えます。

【授業参観について】

「見せるために作られた授業参観の場に意味はなく、自由に参観できるようにする等がよい」

⇒授業参観や学習発表会につきましては、1年間に何度もあるものでなく、特別な授業をすることもあるかと思えます。しかし、普段の授業の参観はいつ来てくださってもよいと思っています。ご都合がつくようでしたら、ぜひコドモンまたは電話にて連絡をしてください。当日は職員室に声かけをし、名札を付け、参観をしていただければと思います。